

紅葉が終わりを告げ 冬の味覚が色づく季節

12月になり、川床の若宮神社境内にある黄金に輝くイチョウの葉は、冷たい北風で落ち始め、本格的な冬の到来を迎えようとしています。

一方、同神社の隣宅の庭には、果肉は甘く、皮は薬味として重宝され続ける、長島の伝統味覚として代表的な“島ミカン”がたわわに実っていました。

そこには、色づきはじめてミカンを食しようと野鳥が止まり、寒い冬を乗り越える冬支度を始めていました。

